

## 平成22年 3月分電力需給状況

### 需要の概要

平成22年3月の販売電力量は、23億2千2百万kWh時、前年比104.0%となった。

#### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年比99.6%となった。

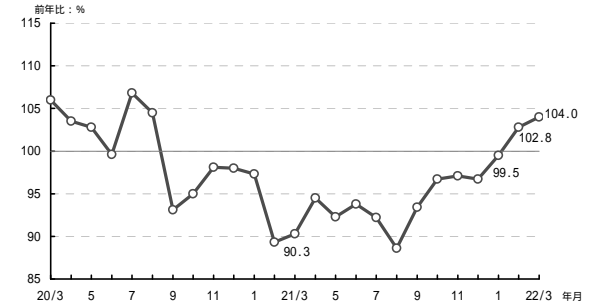
事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、3月中下旬の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比102.7%となった。

産業用の「大口電力」は、依然として低い水準ではあるものの、前年が大幅なマイナスであったことの反動などから、前年比113.5%となった。

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	822	99.6
	電 力	146	95.8
	計	968	99.0
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	511	102.7
	産業用電力	843	111.2
	うち大口電力	(657)	(113.5)
	計	1,354	107.8
販売電力量 計		2,322	104.0
融 通		196	77.5

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



	電力量	前年比		
		22/3月	22/2月	22/1月
織 維	24	112.0	80.2	71.1
紙・パルプ	128	110.5	97.2	89.1
化 学	102	135.4	122.0	104.5
鉄 鋼	76	120.2	109.2	92.8
機 械	143	114.9	110.5	108.9
そ の 他	184	103.2	104.6	101.3
合 計	657	113.5	105.7	98.3

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。  
平成21年4月以降の前年比は、前年同月実績を現在の区分に合わせることで算出した。

(参考2) 4県都平均気温

	22/2月				22/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	7.0	6.5	12.5	8.4	10.3	11.1	9.0
平年差	1.7	0.0	6.0	2.3	2.4	1.9	1.6	0.8
前年差	0.6	3.1	3.5	0.3	1.0	0.5	1.5	0.3

### 供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比182.4%となった。
- 水力は、豊水の影響により、前年比118.7%となった。
- 火力は、原子力、水力の増加などにより、前年比61.3%となった。

	電力量	前年比	備 考
原子力	( 50) 1,448	182.4	出水率 148.8% (21年3月出水率 123.9%)
水 力	( 15) 441	118.7	
火 力	( 34) 967	61.3	
新工ネ	( 1) 33	116.1	
発電電計	(100) 2,889	104.3	
その他	10		
供 給 計	2,879	103.9	

注1：新工ネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2：( )内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

	(百万kWh時、%)			
	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(108.6) 525	( 99.9) 367	(104.8) 813	(101.7) 617

注：( )内は前年比